

加賀地区大会を終えて No.1

先月、加賀地区大会が終わり、一つの区切りがついた部活動が多くあります。この3ヶ月の間に4月は新入生部活動紹介、5月は春季大会、さらに6月は加賀地区大会がありました。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止策のために無観客での開催で、一昨年度のように応援に行くことはできませんでしたが、すべての競技で加賀地区大会が開催されました。どの部活動でもチームのために、仲間のために懸命にプレーする姿、懸命に声援を送る姿がとても素晴らしかったと聞いています。今は、後輩たちにバトンを渡した部活動、また、一方でコンクールや演奏会、県大会や各種大会に向かっている仲間たちもいます。いずれにしても、もうあとわずかです。後輩たちに部活の中心は移り、みなさんは部活動で培った企画力、実行力、粘り強さや協力する力を、今後は最高学年として学校のために使ってください。それまで取り組んできた部活動について振り返りを行い、頑張ってきた自分や仲間の気持ちを共有し、これからの一歩に生かしてほしいと思います。

陸上部 3年間の部活動を振り返って

私は少し遅れて陸上部に入りました。初めは不安でしたが、先輩方や友達が優しくしてくれて嬉しかったです。私もそれに応えたいと思いました。いつものミニハードル、動きづくり、流し、などのメニューは動きやすくなるよう先生も考えてくれていたのだと部が終わって改めて感じました。一年前、運よく高跳びの3位に入賞したとき、この高さで3位かと思いましたが、先日の大会でやっと目標の高さまで跳べてすごく快感でした。3位に入れなかったのは悔しかったけど入賞はできたのでうれしかったです。最後の最後で跳べたのも、先生やコーチのおかげだと思います。部のみんなも自己ベストで終わることができて本当に良かったです。



野球部 野球部に入ってよかったこと

野球部に入って人間力が強くなったと思う。入部当時は挨拶は適当で、移動もゆっくりしていたが、野球を通して挨拶も自然と立ち止まることができるようになったし、移動も自然と走るようになった。でも、何よりも良かったことは、最高な先生のもとで最高な仲間らと一緒に野球ができた事だ。今の仲間たちがいなかったら、中学野球はこんなに楽しくなかったと思う。何でも言ってくれる後輩がいて、おもしろい同級生がいてとっても楽しかった。高校に行ったら中学野球ほど楽しめるかわからないけれど、中学野球以上に野球を楽しめるように必死になって頑張ろうと思った。



バレーボール部 多くの人に支えられてきたということ

自分たちは多くの人に支えられてきたということを実感しました。その中でも一番身近で支えてくれていたのはキャプテンの〇〇さんです。いつも人一倍努力して声を出して、言動だけでなく行動でも自分を支えて引っ張ってくれました。他にも先生方や保護者の方、外部コーチの先生など、たくさんお世話になりました。〇〇先生には短い間でしたが、礼儀正しさや挨拶の大切さなど、将来につながることをたくさん教えていただきました。自分たちがたくさんの人から支えられていたことを忘れず、これから頑張っていきたいと思います。



バスケットボール部 いいチームメイトをもって幸せな三年間だった

先輩方が言っていた「3年間はあっという間だ。」は本当だった。最後の試合が終わった後に感じた。正直、引退したという実感が全くない。まだバスケットをしたいという気持ちがあるのだろう。試合中、何度も頭をよぎった。「もっと練習しとけばよかった」、「一本でも多くシュート練習しとけばよかった」と。相手のチームのシュート、連携はとても素晴らしかった。そして、負けた。くやしかった。試合後、教頭先生に挨拶をした。その時、我慢していた涙があふれ出た。周りを見るとみんな自分と同じくらい泣いていた。みんなも悔しかったんだと感じた。なぜか、みんなと泣いたあの時間が好きだった。親に応援され、他のチームからも応援され、いいチームメイトをもって幸せな三年間だと感じた。



みんなも悔しかったんだと感じた。なぜか、みんなと泣いたあの時間が好きだった。親に応援され、他のチームからも応援され、いいチームメイトをもって幸せな三年間だと感じた。

ハンドボール部 部活は毎日とても楽しかった

僕はこれまでの部活動について振り返ってみて、貴重な体験をすることができたなと思いました。一年生の仮入部ときに、初めてハンドボールをしました。何もわからなかった自分に先輩たちがいろいろと教えてくれました。



夏休み中には合宿があり、そこで分かったこともありました。二年生になってからは、コロナにより、練習時間や試合が制限され、試合に備えることができなかったりしたけど、練習試合で基本的なことを覚えました。三年生になって最後の部活動だったから、一生懸命に部活動をしました。最後の試合は負けてしまったけれど、最後は悔いの残らない試合ができて満足でした。僕はこの二年間で、とても成長することができたんじゃないかと思います。

卓球部 三年間の部活動 … 一喜一憂

一年生のころ、ようやく部活になじめてきたと思ったら三年生の先輩が引退し、長い冬を超え、ようやく通常の練習ができると思ったら、新型コロナで部活動が停止した。思えば長期間にわたり、安定した部活動ができた事はあまりなかった気がする。起伏にとんだ部活動であった。先輩たちは、とても明るく優しく、頼もしい人格に優れた人達で、私にはない特別なリーダー性、カリスマ性を持ち合わせている人達であった。私はいつも先輩達のようになることを目指していたが、叶わなかった。また、後輩にも恵まれた。部内で同学年は一人だが、非常にたくさん後輩が入って来てくれた。後輩たちはよく話を聞き、人をとがめることがなく、いつも賑やかだ。最後に、今までお世話になった顧問の先生達、保護者の方々、そして他校の方々、本当にありがとうございました。

